

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 浜

目標達成計画

作成日: 令和 3年 10月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念である「介護はまず見守りから、ゆっくり相手の気持ちをよく聞いて、地域の方とともに楽しく過ごしましょう」を意識して実践につなげていく。	入居者が重度になられ、自分から希望など話されることがほとんどないが、顔の表情、しぐさなどから相手の気持ちを察していくことが出来るように努力していく。話しかけを多くしていく。	6ヶ月
2	4	○運営推進会議をいかした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上にいかしている。	現在運営推進会議を開くことが難しく、運営推進会議の書面を渡すときに、意見の聴取方法について工夫を行い、サービスの向上に活かせるようにしていく。	運営推進会議の書面を渡すときに、意見やアンケート用紙も同封し、次回回収するなど、サービスの向上にいかしていく。(年度はじめに上記は行っていたが、相手側の負担も考えて中断している。会議以外に直接聞く方法も考える。)	6ヶ月
3	6	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束をしないケアに取り組んでいく。	ベッドの4点柵や玄関の施錠など、外したらどうなるのか、外すにはどうしたらいいか、どこに注意すれば外すことができるか、などを職員としっかり話していく。話し合いの結果は必ず記録し、次回の会議等に生かしていく。	6ヶ月
4					ヶ月

5				ヶ月
---	--	--	--	----

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。